

Otawara

茶臼岳の三森地蔵

Civil Engineering Office

Guide

2026 大田原 土木事務所 ガイド



とちまるくん
おおたわらとほく ver.

恋人の聖地 (那須高原展望台)

善沢彼岸花

御神火祭

茶臼岳の夜景

上の原のハス畑

管内の位置図

大田原土木事務所管内の市町

大田原市 面積354.36km² 人口 68,424人
 那須塩原市 面積592.74km² 人口112,551人
 那須町 面積372.34km² 人口 22,344人

人口:令和8年3月1日現在
 面積:令和8年1月1日現在



大田原土木事務所案内図



管内の概要

大田原土木事務所の管内は、栃木県の北東部に位置し、大田原市、那須塩原市、那須町の2市1町からなっています。総面積は、約1,319km²で県土の約21%、人口は約20万人で県全体の約11%を占めています。

地形的には、北に那須連山、東に八溝山地、西に高原山、南に喜連川丘陵と、四方を山地に囲まれ、中央部は那須連山に源を発する那珂川と白倉山に源を発する箒川に囲まれた広大な那須扇状地帯です。

また、日光国立公園や八溝県立自然公園等に代表される自然環境と、明治の元勳たちによる開拓農場や那須疏水による開拓の歴史及び文化等が調和した地域でもあります。

施設管理の状況として、道路は、国県道合わせて53路線、延長約645kmとなり県が管理する国県道全体の約18%を占めています。河川は、那珂川水系が73河川で延長約592km、久慈川水系が2河川で延長約10km、河川延長については県全体の約24%を占めています。

そのほか、砂防指定地が223箇所で面積約1,355ha、急傾斜地崩壊危険区域指定地が32箇所で面積約33ha、地すべり防止区域指定地が2箇所で面積が約16haあります。

県政の基本指針

- ・「新とちぎ未来創造プラン(2026-2030)」
- ・「県土づくりプラン(2026-2030)」

管内のデータ及び栃木県に占める割合



区分	栃木県 (A)	事務所管内 (B)	B/A	調査年月日	
面積	6,408km ²	1,319km ²	20.6%	R8.1.1	
人口	1,862,483人	203,319人	10.9%	R8.3.1	
市町村数	25市町	3市町	12.0%	R8.4.1	
県管理国道	路線数	12路線	3路線	25.0%	R7.4.1
	延長	690,274m	107,573m	15.6%	//
	舗装率	99.6%	100%	—	//
	改良率	98.8%	99.2%	—	//
県道 (公社管理除く)	路線数	293路線	50路線	17.1%	//
	延長	2,932,491m	537,913m	18.3%	//
	舗装率	97.2%	89.8%	—	//
	改良率	89.0%	86.1%	—	//
県管理国道及び県道延長合計	3,622,765m	645,486m	17.8%	//	
県管理国道及び県道橋梁数	3,008橋	384橋	13.4%	//	
県管理河川	一級河川数	292河川	75河川	25.7%	//
	一級河川延長	2,475km	602.08km	24.3%	//
砂防指定地	箇所数	1,630箇所	223箇所	13.7%	R8.3.31
	面積	7,299.55ha	1,354.54ha	18.6%	//
県営住宅数	7,220戸	450戸	6.2%	R8.4.1	
都市計画区域	413,344ha	79,075ha	19.1%	//	
市街化区域	30,369ha	—	—	//	
用途地域	39,123ha	4,170ha	10.7%	//	



1 事業執行に関する基本方針

「新とちぎ未来創造プラン(2026~2030)」及び「県土づくりプラン(2026~2030)」の初年度となる令和8(2026)年度は、県民とともに目指す本県の将来像「共に創る 人も輝く “元気なとちぎ”」の実現に向け、働き方改善を意識しながら、ICTやAIなどデジタル技術を活用して、県土づくりプランに掲げた各施策を積極的に推進し、インフラの整備・維持・管理を通じて、管内の地域発展に努めます。

1 道路事業

- 成長を支える広域道路ネットワークの充実・強化
 - ・国道400号 西赤田(那須塩原市) ・国道400号 新富町(大田原市)
 - ・国道461号 黒羽BP(大田原市) ・大田原氏家線 親園佐久山BP(大田原市)
 - ・西那須野那須線 西遅沢、上厚崎、黒磯那須BP(那須塩原市、那須町)
 - ・関谷上石上線 四区町(大田原市、那須塩原市)
 - ・豊原高久線 高久駅前(那須町) ・那須西郷線 北沢(大谷開拓橋)(那須町)
 - ・3・3・3号野崎乙線橋通り 野崎(大田原市、那須塩原市)
- 誰もが安全で安心して利用できる道づくり
 - ・黒磯黒羽線 豊浦(那須塩原市) ・黒磯棚倉線 稲沢(那須町)
- 快適で円滑な移動を支える道づくり
 - ・那須高原線 広谷地(那須町) ・那須西郷線 池田(那須町)
- 災害に強い道づくり
 - ・3・4・1号中田原美原線 城山(大田原市) ・3・4・8号藤原西那須野線 五軒町(那須塩原市)
 - ・黒磯棚倉線 梓(那須町) ・予防伐採(全市町)
- 未来を見据えた持続可能な道路維持管理
 - ・道路施設の長寿命化対策(全市町) ・スマートフォンを活用した維持管理体制のDX化

2 河川・砂防事業

- 水災害を軽減するための流域治水の推進
 - ・鹿島川 中央(大田原市) ・蛇尾川 墓沼(那須塩原市)
 - ・門前向沢 塩原(那須塩原市) ・木下沢 箕沢(那須町)
 - ・堆積土砂除去(全市町)
- 災害対応力の強化
 - ・土砂災害警戒区域の住民への周知(全市町) ・地域防災力の向上に向けた出前講座の実施

3 まちづくり事業

- 「とちぎのスマート＋コンパクトシティ」の実現
 - ・渋滞対策等による“まちの魅力向上”【那須高原等】(全市町)

2 執務に関する基本方針

1 挑戦

社会情勢の潮流を先読みし、積極的に新たな取組や施策に挑戦します。

2 連携・協働

管内市町や関係機関等との連携により、挑戦を成果に結びつけます。

3 県民目線

様々な課題や県民ニーズに対し、スピード感をもって取り組みます。

4 職員育成

職員の挑戦する気持ちを伸ばすことにより、「チーム大田原」としての組織力を高めます。

5 健康管理

一人ひとりが健康でのびのびと能力を発揮できるよう、活力のある職場を創出します。

3 働き方改革の推進に関する基本方針

「C×hallengeプロジェクト(共創促進しごと改革)」に基づき、事業の執行、関係機関との関わり方、職員の育成、ライフワークバランスについて、テレワークやDXなどの活用により、さらなる事務事業の効率化を図ることで、働き方改革を一層推進します。

道路・河川の維持管理

1 道路 道路を常に安全で快適な状態に保つために、次のような業務を実施しています。

- 道路のパトロール
- 損傷した路面や側溝の補修
- 路面清掃 ●法面点検
- 橋梁、トンネル等の点検及び補修工事
- 道路照明灯や案内標識の設置
- 除草、街路樹の剪定
- 道路の除雪



2 河川 河川を常に安全で潤いのある状態に保つために、次のような業務を実施しています。

- 河川のパトロール
- 損傷した河川堤防の補修
- 河川清掃
- 河川構造物（護岸、根固工、床固め等）点検及び補修工事
- 油流入等による異常水質対応
- 雑草の刈り払い



許認可事務

1 道路法

①道路占用許可

道路を使用(占有)する場合には、許可が必要となります。

②道路工事施行承認

道路の法面埋立て、歩道切り下げ等による車両乗入口の設置、取付け道の設置等、県が管理する道路と関係する工事を行う場合には、承認が必要となります。

3 砂防法など

次の区域内で制限行為(盛土、切土等)を行う場合には、各法律に基づく許可が必要となります。

- ①砂防指定地(砂防法)
- ②急傾斜地崩壊危険区域(急傾斜地法)
- ③地すべり防止区域(地すべり等防止法)

2 河川法

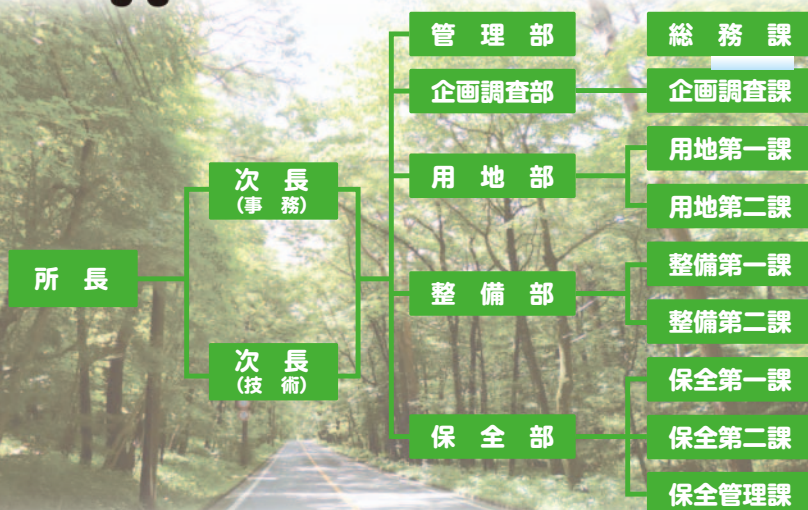
河川区域内において土地を使用(占有)したり制限行為(工作物の設置、盛土、切土等)を行う場合や、河川保全区域内において制限行為を行う場合には、許可が必要となります。

4 土砂災害防止法

土砂災害特別警戒区域内で特定の開発行為を行う場合には、許可が必要となります。



大田原土木事務所の組織図



- (課員)
- ・土木工事の入札契約
・庶務、建設業の許可 ……………7名
 - ・土木事業の計画調整
・工事業務委託の監督 ……………7名
 - ・公共用地の取得、補償、登記
……………14名
 - ・道路、河川、砂防施設の整備
……………17名
 - ・道路、河川、砂防施設の維持管理
……………18名
 - ・各種法律に基づく許可
・道路、河川の管理 ……………5名

- 職員数 70人
(事務職員25人、技術職員42人、現業職員3人)
- その他職員 17人
(派遣職員4人、用地事務支援員3人、道路河川監視員7人、事務補助員3人)




令和8年度の主要事業

大田原土木事務所管内図

1 一般国道400号 西赤田(那須塩原市)

- 那須塩原市西赤田
- 快速で安全な道づくり事業(補助)
- 全体計画 L=2,500m、W=25.0~30.0m
- C=約81億円
- 事業期間 平成29年度~


重要物流道路としての安定的な物流機能の確保や高速道路等へのアクセス強化。国道4号西部那須野道と一体的整備による道路ネットワークの充実・強化を図るため、道路拡幅整備(4車線化)を実施しています。



2 一般国道461号 黒羽バイパス

- 大田原市南金丸~八塩
- 快速で安全な道づくり事業(補助)
- 全体計画 L=1,500m、W=12.0m
- C=約60億円
- 事業期間 令和8年度~


黒羽地区中心部の本区間は、幅員が狭くクラック形状であり、朝夕の通勤時間帯には渋滞が発生していることから、安全な通行の確保や東西交通の円滑化を図るため、那珂川を渡河するバイパス整備を実施しています。



3 主要地方道 大田原氏家線 親園佐久山バイパス

- 大田原市親園~佐久山
- 快速で安全な道づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=2,200m、W=11.75m
- C=約47億円
- 事業期間 平成21年度~

本路線は、国道4号を補完する道路として産業や日常生活を支える重要な路線であるが、本区間は線形が屈曲し急勾配で幅員も狭いことから、円滑な交通や通学児童の安全等を確保するため、那珂川を渡河するバイパス整備を実施しています。



4 主要地方道 西那須野那須線 黒磯那須バイパス

- 那須塩原市北栄町~那須町簡地
- 快速で安全な道づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=2,100m、W=12.0m
- C=約32億円
- 事業期間 平成28年度~


那須塩原市と那須町の連携強化や周辺地域の発展を促す重要な路線であるが、本区間は線形が屈曲し急勾配で幅員も狭いことから、円滑な交通や通学児童の安全等を確保するため、那珂川を渡河するバイパス整備を実施しています。



5 主要地方道 那須西郷線 北沢(那須町)

- 那須町北沢
- 快速で安全な道づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=600m、W=9.5m
- C=約8億円
- 事業期間 令和3年度~

余笹川を渡河する大谷開拓橋は、幅員が5m未満と狭く、観光地である那須高原エリアの周辺性向上を図るため、那珂川を渡河するバイパス整備を実施しています。



6 一般県道 豊原高久線 高久駅前(那須町)

- 那須町寺子~高久
- 快速で安全な道づくり事業(補助)
- 全体計画 L=2,300m、W=11.0m
- C=約13億円
- 事業期間 令和元年度~


那須町と那須塩原市黒磯地区中心部の安全な交通を確保し、地域間の連携強化・交通促進を図るため、幅員狭小及び線形屈曲部の道路改良を実施しています。



7 主要地方道 黒磯黒羽線 豊浦(那須塩原市)

- 那須塩原市豊浦
- 快速で安全な道づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=500m、W=12.0m
- C=約3億円
- 事業期間 令和3年度~

本区間は、豊浦小学校の通学路であるにもかかわらず歩道が未整備であるほか、右折レーンがなく朝夕に渋滞が発生していることから、安全な交通を確保するため、道路改良を実施しています。



8 主要地方道 那須西郷線 池田(那須町)

- 那須町池田
- 快速で安全な道づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=700m、W=11.5m
- C=約8億円
- 事業期間 令和4年度~

本区間は観光シーズンの渋滞が著しく、交差点部を中心に円滑な通行に支障をきたしていることから、那須高原エリアの周辺性向上を図るため、交差点を含めた道路改良を実施しています。



9 主要地方道 黒磯棚倉線 梓(那須町)

- 那須町梓
- 道路保全事業(補助)
- 全体計画 L=700m、W=6.0m
- C=約8億円
- 事業期間 平成24年度~

本区間は山間部であり、斜面崩壊や落石等のおそれがあることから、これを防止し安全な通行空間を確保するため、法面工等の防災工事を実施しています。



10 主要地方道 塩原矢板線 防災 塩原(那須塩原市)

- 那須塩原市塩原
- 土砂災害対策道路事業(補助)
- 全体計画 L=4,700m
- C=約9億円
- 事業期間 平成28年度~


本区間は山間部であり、斜面崩壊や落石等のおそれがあることから、これを防止し安全な通行空間を確保するため、落石防護網等の防災工事を実施しています。



11 一般県道 那須甲子線 橋梁補修 黒川橋(那須町)

- 那須町大島
- 道路保全事業(補助)
- 全体計画 橋長L=41.0m、W=9.25m
- C=約2億円
- 事業期間 令和7年度~


黒川橋(昭和52年架設)は、法定点検で損傷が判明したことから、橋梁の長寿命化を図るため、断面修復や伸縮装置の取替などの橋梁補修工事を実施しています。



12 都市計画道路 3・3・3号野崎こ線橋通り

- 大田原市野崎~那須塩原市一区町
- 街路づくり事業(補助)
- 全体計画 L=940m、W=15.0~26.5m
- C=約25億円
- 事業期間 平成30年度~

JR東北本線の第一大田原街道踏切では、通勤時間帯に慢性的な渋滞が発生していることから、渋滞緩和や歩行者の安全確保を図るため、鉄道交差部の立体化を含むバイパス整備を実施しています。



13 都市計画道路 3・4・1号中田原美原線

- 大田原市城山
- 街路づくり事業(補助)
- 全体計画 L=630m、W=15.0m
- C=約20億円
- 事業期間 令和2年度~

本区間は、大田原市中心部のメインストリートであり通学路にもなっているが、現道は狭く歩道も未整備であることから、安全で機能的な道路空間及び美しい街並み等を確保するため、道路拡幅及び無電柱化を実施しています。



14 一級河川 鹿島川 中央(大田原市)

- 大田原市中央
- 安全な川づくり事業(交付金)
- 全体計画 L=1,000m、調節池2箇所
- C=約20億円
- 事業期間 平成29年度~

大田原市中心部を流れる鹿島川は、流下断面が不足しており市街地が浸水するおそれがあることから、地域住民の安全・安心を確保するため、河川改修や調節池整備を実施しています。



15 蛇尾川 墓沼(那須塩原市)

- 那須塩原市墓沼
- 砂防施設づくり事業(交付金)
- 全体計画 帯工7基
- C=9億円
- 事業期間 令和2年度~

河道に堆積している不安定土砂によって、河道閉塞や異常洗掘などが発生するおそれがあることから、下流域での土砂災害を未然に防止するため、砂防施設の整備を実施しています。



16 門前向沢 塩原(那須塩原市)

- 那須塩原市塩原
- 砂防施設づくり事業(補助)
- 全体計画 砂防堰堤1基
- 事業費 C=約2億円
- 事業期間 平成30年度~


門前向沢下流域の人家や緊急輸送道路である国道400号を土砂災害の危険から守るため、砂防堰堤の整備を実施しています。




17 一級河川 熊川 河川改修

- 大田原市荒井~那須塩原市箕輪
- 安全な川づくり事業(補助、交付金)
- 全体計画 L=11,900m
- C=約37億円
- 事業期間 平成19年度~令和7年度


熊川の蛇尾川合流点から箕輪橋までの区間については、必要とする流下断面が確保されておらず、洪水の発生が懸念されていました。令和7年6月に河川改修工事が完了したことで、水災害に対する安全性が向上しました。



18 一般国道400号 舗装修繕

- 那須塩原市塩原
- 道路保全事業(県単)
- 全体計画 L=200m、W=3.9m
- C=約2千万円
- 事業期間 令和7年度


本区間は、車道舗装の路面の一部破損しており早急な修繕が求められていました。令和7年11月に舗装修繕工事を実施したことで、適切な走行性能を回復し、道路利用の安全性・快適性を確保しました。



19 一級河川 那珂川 堆積土除去

- 大田原市北滝
- 緊急防災・減災対策事業(県単)
- 全体計画 L=270m、C=約2千万円
- 事業期間 令和7年度

本河川は、土砂の堆積が顕著な箇所があり洪水発生のおそれがあることから、計画的に堆積土除去工事を進めています。令和7年度は、約3千mの堆積土を除去し安全性の向上を図りました。




令和7年度の成果

20 出前講座・防災講習会

- 管内市町

当事務所では、職員が管内の小学校へ赴き、河川水難事故や土砂災害、及びそれらに対する注意などについて説明する出前講座を開催しています。令和7年度は、3小学校で出前講座を開催し、1小学校で建設業協会、警察、消防等と合同での防災講習会を開催しました。



0 1,000 2,000 3,000 4,000m